

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

18382

公共交通体系研究事業

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	1	コンパクトシティの実現
施策	2	公共交通体系の充実
取組方針	3	公共交通機関の維持・充実

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	土木費		
	項	都市計画費		
	目	交通政策費		
	大事業	交通政策事業		
	中事業	公共交通体系研究事業		

事業種別	継続		関連個別計画	和歌山市地域公共交通計画		
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	交通政策課	南 紀雄 435-1016
事業実施の根拠法令			関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	公共交通（鉄道、バス、フェリー等）に関し、新交通システムも含め調査、研究を行い、利用促進、利便性の向上につなげる。		市内の公共交通利用者が年々減少し、貴志川線の廃線危機や近年の路線バスの縮小・廃止などが相次いでいる一方、今後ますます高齢社会となる中で、市民の移動手段として公共交通の重要性が大きくなることが予想される。そのため、現状の公共交通路線網を維持するために、市民が利用しやすい公共交通について調査・研究し、利用を促す。			
事業内容	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	
	<ul style="list-style-type: none"> 研修会への参加 先進都市視察 和歌山徳島航路利用促進事業補助事業 地域公共交通網形成計画の実施及び進捗管理 紀淡同盟会（総会等開催、中央要望の実施） 	他都市の先進事例について研究会、他都市視察を通し調査、研究し、既存の公共交通機関の利用促進、利便性の向上につながる対策を事業者と構築する。	他都市の先進事例について研究会、他都市視察を通し調査、研究し、既存の公共交通機関の利用促進、利便性の向上につながる対策を事業者と構築する。	他都市の先進事例について研究会、他都市視察を通し調査、研究し、既存の公共交通機関の利用促進、利便性の向上につながる対策を事業者と構築する。	他都市の先進事例について研究会、他都市視察を通し調査、研究し、既存の公共交通機関の利用促進、利便性の向上につながる対策を事業者と構築する。	

2 事業コスト

事業費等（千円）	令和03年度		令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	1,376	3,958	983	863	980	892	1,387	0	982	0
伸び率（%）	△4.8%	240.6%	△28.6%	△78.2%	△0.3%	3.4%	41.5%	△100%	△29.2%	0%
人件費	正規職員	11,403	14,273	15,026	13,469	6,836	6,522	6,836	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	11,403	14,273	15,026	13,469	6,836	6,522	6,836	0	0
国庫支出金	278	3,203	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）	1,098	755	983	863	980	892	1,387	0	982	0
所要人数（人）	正規職員	1.47	1.84	1.93	1.73	0.87	0.83	0.87	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	旅費16千円、印刷製本費286千円、負担金78千円、補助金600千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
研修会等参加回数		回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	0	0	1		
			達成度(%)	0%	0%	100%	%	%
要望活動回数		回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
要望活動回数		回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
成果指標			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>車社会の進展や人口減少、新型コロナウイルス感染症の影響等により、全国的に公共交通利用者が年々減少しており、鉄道やバス路線の縮小・廃止などの問題が生じている。</p> <p>一方、今後ますます高齢化社会となる中で、市民の移動手段である公共交通の重要性がさらに大きくなることが予想されるため、現状の公共交通ネットワークを維持するために、新たなモビリティや新技術の検討など、市民が利用しやすい公共交通について調査・研究し、利用を促すことが必要である。</p>
見直し・改善内容	<p>和歌山市地域公共交通計画の実施及び進捗管理など、今後も公共交通ネットワークの充実を図るとともに、市民が利用しやすい公共交通について調査・研究を進めていく必要がある。</p> <p>紀淡連絡道路実現期成同盟会においては、現在の要望をはじめとする活動を継続しながら、国の動向や他団体の活動状況を踏まえ、活動内容について検討・協議していく。</p>